

無線LAN中継機

WEX-733D

エアステーション設定ガイド

buffalo.jp

35020619-05
2015.10

目次

第1章 はじめに	4
操作方法について.....	4
電波に関する注意.....	4
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意 ...	5
動作環境.....	6
第2章 無線親機に接続する	7
WPSボタンで無線親機に接続する.....	7
手動で無線親機と接続する	8
SSIDを検索して接続する場合	8
SSIDを手動入力して接続する場合.....	10
本製品を2台使って、通信距離をさらに延ばす	12
構成例と設定の概要	12
Step 1 本製品の設定を初期化する	13
Step 2 1台目を接続する.....	13
Step 3 2台目を接続する.....	15
Step 4 2台目のSSIDを変更する	16
Step 5 お使いの端末に接続先を追加する	18
第3章 本製品の設定画面	19
設定画面とは	19
設定画面を表示する	19
システム情報	20
接続設定.....	21

WPS設定	21
詳細設定.....	22
タイムゾーン	23
2.4GHz 無線設定 / 5GHz 無線設定	23
MACアクセス制限	24
機器設定.....	25
機器管理.....	25
pingテスト	26
通信パケット情報	26
ログ情報.....	27
ログ情報転送機能	27
動画配信サービス設定	27

第4章 本製品の各種設定28

新しく購入した端末を本製品と接続する	28
WPSボタンで接続する	28
設定画面からWPSで接続する	28
PINコードを使用したWPSで接続する.....	29
他の端末から本製品を検索できなくする (ANY接続拒否設定) .	31
アクセス可能な端末を制限する (MACアクセス制限)	32
親機のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する	32
親機－端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可 する	35
ランプを消灯する.....	35

第5章 困ったときは36

無線接続が切れる/不安定	36
無線でつながらない	37

設定画面が表示できない.....	38
無線での通信が遅い.....	38
設定を出荷時の状態に戻したい.....	39

第6章 付録.....40

製品仕様.....	40
LAN端子仕様.....	41
初期設定一覧.....	42
コントロールパネルの表示方法.....	43
IPアドレスの固定方法.....	44
Windows 10/8.1/8の場合.....	44
Windows 7の場合.....	44
Windows Vistaの場合.....	45
Windows XPの場合.....	46
Mac OS Xの場合.....	46
著作権・免責事項.....	47

第1章 はじめに

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- IEEE802.11aのW52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局(免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4 GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALOサポートセンター」までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)

「無線LANのセキュリティーに関するガイドライン」より

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応機器・対応OS

<本製品との無線接続>

無線LAN機能に対応したルーター、アクセスポイント、
無線LAN機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など

<本製品の設定変更>

対応OS

Windows 10^{*1}/8.1^{*1}/8^{*1}/7^{*1}/Vista^{*1}/XP^{*2}パソコン、
Mac OS X 10.5～10.11、

※1 64ビットと32ビットに対応しています。

※2 32ビット、かつサービスパック3に対応しています。

動作確認済みブラウザ

Microsoft Edge

Internet Explorer 9、11

Safari 9.0.1

Firefox 30.0/31.0

Chrome 35.0.1916.153m

※最新の対応情報は、当社ホームページをご確認ください。

第2章 無線親機に接続する

本製品の設定を行う前に、本製品を無線親機と接続してください。

WPSボタンで無線親機に接続する

ここでは、本製品前面のWPSボタンを押して無線親機に接続する方法を説明します。

メモ:

- 以下では本製品が出荷時の状態(何も設定がされていない状態)を前提に説明しています。本製品を無線親機に接続し直す場合や、すでに本製品の設定を行っている場合は、本製品の設定を初期化してから以下の手順へ進んでください。
- 初期化方法の詳細は、第5章の「設定を出荷時の状態に戻したい」を参照してください。

- 1** 現在お使いの親機に、お使いの機器(パソコンや携帯端末など)を接続してインターネットに接続できることを確認します。

メモ: インターネットに接続できない場合、無線親機の説明書を参照して設定を行い、インターネットに接続できることを確認してください。

- 2** 本製品底面のAUTO/5 GHzスイッチが「AUTO」になっていることを確認したら、本製品を親機の近くのコンセントに挿し込み、電源スイッチをオンにします。約1分後、POWERランプだけが緑色に点灯していることを確認します。

- 3** 本製品のWPSボタンを、WPSランプが2回周期で点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回周期で点滅したら、ボタンから手を離します。

- 4** 現在お使いの親機のAOSS/WPSボタンを押して、WPS接続を開始します。

メモ: ボタンを押す間隔は、お使いの親機によって異なります。当社製親機の場合は、AOSSボタンをワイヤレスランプ(またはセキュリティランプ)が2回周期で点滅するまで押し続けてください。

- 5** 本製品と親機の接続設定が完了するまで、約4分(※)かかります。約4分後(※)、「2.4GHzランプ」または「5GHzランプ」が点灯していることを確認してください。

※ この間に本製品は自動的に再起動しますので、手を触れずにそのままお待ちください。

メモ: WPSランプが速く点滅している場合は、本製品と親機を近づけ、手順3～4をもう一度行ってください。

- 6** いったん本製品の電源をオフにし、本製品を設置したい場所に設置してもう一度電源をオンにします。約1分後、本製品の5 GHzランプまたは2.4 GHzランプが点灯または点滅していることを確認します。

- 7** お使いのパソコンや携帯端末を本製品に近づけ、インターネットに接続できることを確認してください。

メモ: 本製品の子機接続ランプが点灯していないときは、一度パソコンや携帯端末の無線機能をオフにし、もう一度オンにしてください。

以上で設定は完了です。

手動で無線親機と接続する

ここでは、WPSボタンを使用せずに無線親機に接続する方法を説明します。

SSIDを検索して接続する場合

メモ:

- 以下では本製品が出荷時の状態(何も設定がされていない状態)を前提に説明しています。本製品を無線親機に接続し直す場合や、すでに本製品の設定を行っている場合は、本製品の設定を初期化してから以下の手順へ進んでください。
- 初期化方法の詳細は、第5章の「設定を出荷時の状態に戻したい」を参照してください。

- 1 現在お使いの親機に、お使いの機器(パソコンや携帯端末など)を接続してインターネットに接続できることを確認します。

メモ: インターネットに接続できない場合、無線親機の説明書を参照して設定を行い、インターネットに接続できることを確認してください。

- 2 本製品底面のAUTO/5 GHzスイッチが「AUTO」になっていることを確認したら、本製品を親機の近くのコンセントに挿し込み、電源スイッチをオンにします。約1分後、POWERランプだけが緑色に点灯していることを確認します。

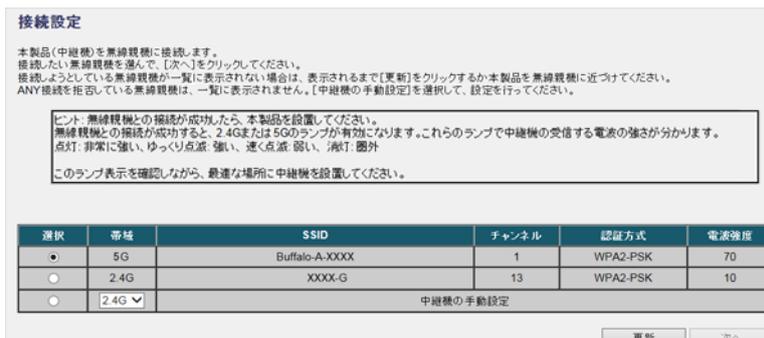
- 3 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。

- 4 ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set (repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。

- 5 パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」を入力し、[OK]をクリックします。



- 6 無線親機の検索画面が表示されます。接続する無線親機を選択して[次へ]をクリックします。



- 7 選択した無線親機の暗号化キーを入力して[次へ]をクリックします。

暗号化キーの入力

暗号化キーを入力して、[次へ]をクリックしてください。

暗号化キー:

- 8 しばらく待って以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



- 9 親機の設定を使用する(ローミングを行う)場合は、そのまま[設定する]をクリックします。

メモ: 本製品のSSIDを変更すると、接続するパソコンや携帯端末は親機と本製品の間で自動的に接続を切り替えることができなくなります。通常は、SSIDを変更せずそのままお使いください。

次の内容で設定を行います。

下記の「本製品のSSID」の値を変更することで、本製品のSSIDを変更できます。暗号化キーは、変更できません。

2.4G設定
本製品のSSID:

認証方式: **WPA-PSK**

5G設定
接続している無線親機のSSID: **Buffalo-A-XXXX**
本製品のSSID:

認証方式: **WPA-PSK**

このページをブラウザのブックマークに登録する。: <http://repeaterXXXX.set>
設定を変更するときに素早く設定画面を開くことができるように、Webブラウザのブックマークに登録しておくことを推奨します。

(Internet ExplorerとFirefoxのみ対応。他のWebブラウザはブックマークの登録にアクセスキーが必要です。)

- 10 以下の画面が表示されたら、ブラウザを終了します。

無線親機と本製品が無線で接続されました。

2.4G 設定
機器の名称: **Buffalo-A-XXXX**
暗号化キー: **XXXXXXXXXXXX**

5G 設定
機器の名称: **Buffalo-A-XXXX**
暗号化キー: **XXXXXXXXXXXX**

- 11 いったん本製品の電源をオフにし、本製品を設置したい場所に設置してもう一度電源をオンにします。約1分後、本製品の5 GHzランプまたは2.4 GHzランプが点灯または点滅していることを確認します。

- 12 お使いのパソコンや携帯端末を本製品に近づけ、インターネットに接続できることを確認してください。

メモ: 本製品の子機接続ランプが点灯していないときは、一度パソコンや携帯端末の無線機能をオフにし、もう一度オンにしてください。

以上で設定は完了です。

SSIDを手動入力して接続する場合

メモ:

- 以下では本製品が出荷時の状態(何も設定がされていない状態)を前提に説明しています。本製品を無線親機に接続し直す場合や、すでに本製品の設定を行っている場合は、本製品の設定を初期化してから以下の手順へ進んでください。
- 初期化方法の詳細は、第5章の「設定を出荷時の状態に戻したい」を参照してください。

- 1 現在お使いの親機に、お使いの機器(パソコンや携帯端末など)を接続してインターネットに接続できることを確認します。

メモ: インターネットに接続できない場合、無線親機の説明書を参照して設定を行い、インターネットに接続できることを確認してください。

- 2 本製品底面のAUTO/5 GHzスイッチが「AUTO」になっていることを確認したら、本製品を親機の近くのコンセントに挿し込み、電源スイッチをオンにします。約1分後、POWERランプだけが緑色に点灯していることを確認します。

- 3 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。

- 4 ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set(repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。

- 5 パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」を入力し、[OK]をクリックします。



- 6 無線親機の検索画面が表示されます。最下部の「中継機の手動設定」を選択し、接続したい帯域(2.4GHzまたは5GHz)を選択して[次へ]をクリックします。

接続設定

本製品(中継機)を無線親機に接続します。
 接続したい無線親機を選んで、[次へ]をクリックしてください。
 接続しようとしている無線親機が一覧に表示されない場合は、表示されるまで[更新]をクリックするか本製品を無線親機に近づけてください。
 ANY接続を拒否している無線親機は、一覧に表示されません。[中継機の手動設定]を選択して、設定を行ってください。

ヒント: 無線親機との接続が成功したら、本製品を設置してください。
 無線親機との接続が成功すると、2.4Gまたは5Gのランプが着灯になります。これらのランプで中継機の受信する電波の強さが分かります。
 点灯: 非常に強い、ゆっくり点滅: 強い、速く点滅: 弱い、消灯: 圏外
 このランプ表示を確認しながら、最適な場所に中継機を設置してください。

選択	帯域	SSID	チャンネル	認証方式	電波強度
<input type="radio"/>	5G	Buffalo-A-XXXX	1	WPA2-PSK	70
<input type="radio"/>	2.4G	XXXX-G	13	WPA2-PSK	10
<input checked="" type="radio"/>	5G	中継機の手動設定			

更新 次へ

- 7 接続する無線親機のSSID、認証方式などのセキュリティ情報、チャンネルを入力し、[次へ]をクリックします。

メモ: 各項目の確認方法は、お使いの無線親機の取扱説明書を確認してください。

2.4GHz 無線設定

無線の設定を行います。

SSID: abcdefgh1234

認証方式: WPA-PSK

暗号方式: WPA(TKIP) WPA2(AES)

入力方式: 文字入力(8-63文字)

暗号化キー: xxxxxxxx

チャンネル: 9

戻る 次へ

- 8 しばらく待って以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



- 9 親機の設定を使用する(ローミングを行う)場合は、そのまま[設定する]をクリックします。

メモ: 本製品のSSIDを変更すると、接続するパソコンや携帯端末は親機と本製品の間で自動的に接続を切り替えることができなくなります。通常は、SSIDを変更せずそのままお使いください。

次の内容で設定を行います。

下記の「本製品のSSID」の値を変更することで、本製品のSSIDを変更できます。暗号化キーは、変更できません。

2.4G設定
 本製品のSSID: xxxxxxxx

認証方式: WPA-PSK

5G設定
 接続している無線親機のSSID: abcdefgh1234
 本製品のSSID: xxxxxxxx

認証方式: WPA-PSK

このページをブラウザのブックマークに登録する。: <http://repeaterXXXX.set>

設定を変更するときに素早く設定画面を開くことができるように、Webブラウザのブックマークに登録しておくことを推奨します。

(InternetExplorerとFirefoxのみ対応。他のWebブラウザはブックマークの登録にアクセスキーが必要です。)

10 以下の画面が表示されたら、ブラウザーを終了します。

無線親機と本製品が無線で接続されました。

2.4G 設定
機器の名称： abcdefgh1234

暗号化キー： XXXXXXXXX

5G 設定
機器の名称： abcdefgh1234

暗号化キー： XXXXXXXXX

11 いったん本製品の電源をオフにし、本製品を設置したい場所に設置してもう一度電源をオンにします。約1分後、本製品の5 GHzランプまたは2.4 GHzランプが点灯または点滅していることを確認します。

12 お使いのパソコンや携帯端末を本製品に近づけ、インターネットに接続できることを確認してください。

メモ：本製品の子機接続ランプが点灯していないときは、一度パソコンや携帯端末の無線機能をオフにし、もう一度オンにしてください。

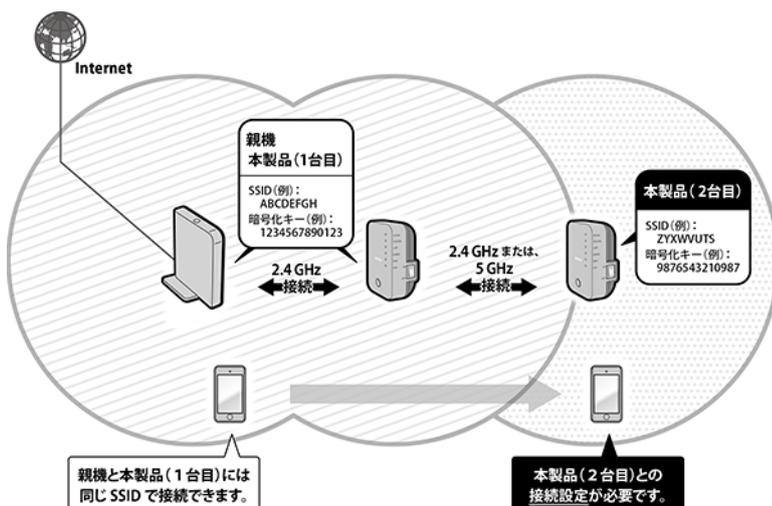
以上で設定は完了です。

本製品を2台使って、通信距離をさらに延ばす

お使いの機器と無線親機の間本製品(中継機)を増設すると、通信距離をさらに延ばすことができます。ここでは、本製品を2台使って通信する設定方法を説明します。

構成例と設定の概要

構成例



設定の概要

- 親機と1台目の本製品は、2.4 GHzで接続します。
- 本製品同士は、2.4 GHzまたは5 GHz (W52) で接続します。

- 2台目の本製品は、SSIDを変更する必要があります。
メモ: 本製品同士を、親機とは異なる周波数帯で接続する(上の例では本製品同士を5 GHzで接続する)と、中継による無線の実効速度の低下を抑えられる場合があります。

設定に必要な機器

本製品の設定を行うために、有線LAN端子を搭載したパソコンが必要です。

Step 1 本製品の設定を初期化する

設定を行う前に、本製品の設定を初期化します。

すでに本製品を使用している環境(親機と本製品を接続している環境)にもう1台増設する場合は、現在使用している本製品の設定も初期化してください。

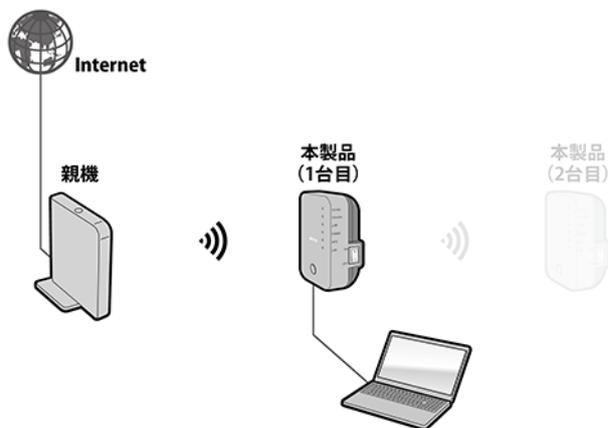
初期化は以下の手順で行います。

- 1 本製品をコンセントに挿し込み、電源スイッチをオンにします。
- 2 約1分後、本製品のWPSボタンをPOWERランプが速く点滅するまで(約10秒間)長押しします。
しばらくすると本製品が再起動し、設定が初期化されます。

以上で初期化は完了です。

Step 2 1台目を接続する

本製品の初期化が完了したら、親機に1台目を接続します。

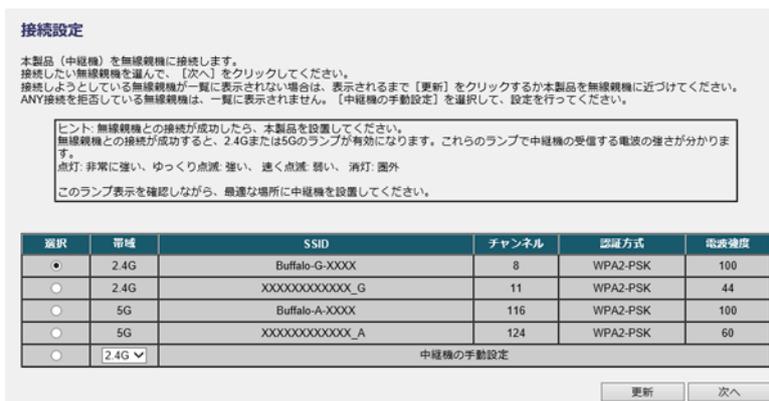


- 1 現在お使いの親機のSSIDと暗号化キーを控えます。
メモ: SSIDや暗号化キーについての詳細は、親機の取扱説明書を参照してください。
- 2 現在お使いの親機に、お使いの機器(パソコンや携帯端末など)を接続してインターネットに接続できることを確認します。
メモ: インターネットに接続できない場合、親機の説明書を参照して設定を行い、インターネットに接続できることを確認してください。
- 3 底面のAUTO/5 GHzスイッチが「AUTO」になっていることを確認したら、1台目を親機の近くのコンセントに挿し込み、電源スイッチをオンにします。
約1分後、POWERランプだけが緑色に点灯していることを確認します。

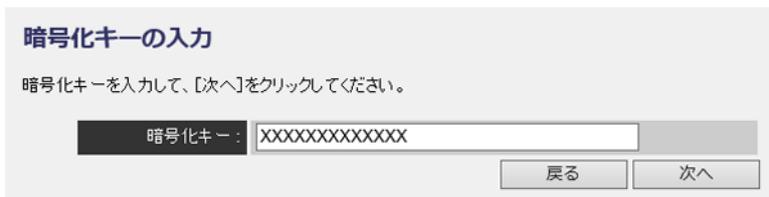
- 4 設定用パソコンと1台目をLANケーブルで接続します。
- 5 ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set (repeaterXXXX.setの部分はセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。
- 6 パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」を入力し、[OK]をクリックします。



- 7 親機の検索画面が表示されたら、接続する親機(手順1で確認したSSIDと同じもので帯域欄が「2.4G」のもの)を選択し、[次へ]をクリックします。



- 8 選択した親機の暗号化キーを入力して[次へ]をクリックします。



- 9 しばらく待って以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



10 そのまま[設定する]をクリックします。

次の内容で設定を行います。

下記の「本製品のSSID」の値を変更することで、本製品のSSIDを変更できます。暗号化キーは、変更できません。

2.4G設定
無線親機のSSID: **Buffalo-G-XXXX**

本製品のSSID:

認証方式: **WPA-PSK**

5G設定
本製品のSSID:

認証方式: **WPA-PSK**

このページをブラウザのブックマークに登録する。: <http://repeaterXXXX.set>

設定を変更するときに素早く設定画面を開くことができるように、Webブラウザのブックマークに登録しておくことを推奨します。

(InternetExplorerとFireFoxのみ対応。他のWebブラウザはブックマークの登録にアクセスキーが必要です。)

11 以下の画面が表示されたら、ブラウザを終了します。

無線親機と本製品が無線で接続されました。

2.4G 設定
機器の名称: **Buffalo-G-XXXX**

暗号化キー: **XXXXXXXXXXXXXXXX**

5G 設定
機器の名称: **Buffalo-G-XXXX**

暗号化キー: **XXXXXXXXXXXXXXXX**

12 いったん1台目の電源をオフにし、1台目を設置したい場所に設置してもう一度電源をオンにします。約1分後、1台目の2.4 GHzランプが点灯または点滅していることを確認します。

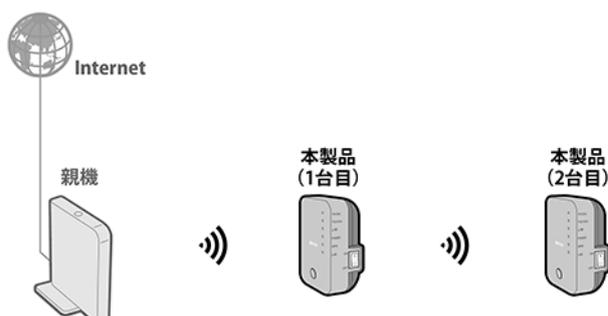
13 お使いのパソコンや携帯端末を1台目に近づけ、インターネットに接続できることを確認してください。

メモ: 1台目の子機接続ランプが点灯していないときは、一度パソコンや携帯端末の無線機能をオフにし、もう一度オンにしてください。

以上で親機と1台目の接続は完了です。

Step 3 2台目を接続する

1台目の設定が終わったら、本製品同士を接続(2台目を1台目に接続)します。

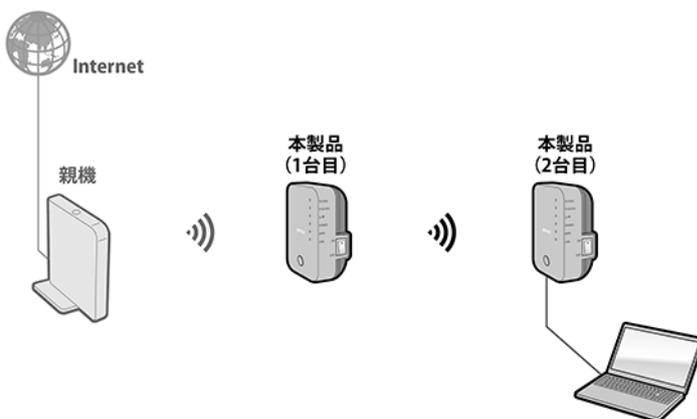


- 1 2台目の底面のAUTO/5 GHzスイッチが「AUTO」になっていることを確認したら、2台目を1台目の近くのコンセントに挿し込み、電源スイッチをオンにします。
約1分後、POWERランプだけが緑色に点灯していることを確認します。
メモ: 本製品同士を5 GHz固定で接続したい場合は、2台目の底面のスイッチを「5 GHz」に設定してください。
- 2 2台目のWPSボタンを、WPSランプが2回周期で点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回周期で点滅したら、ボタンから手を離します。
- 3 1台目のWPSボタンを、WPSランプが2回周期で点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回周期で点滅したら、ボタンから手を離します。
- 4 本製品同士の接続設定が完了するまで、約4分(※)かかります。約4分後(※)、1台目はWPSランプ、2台目は5 GHzランプまたは2.4 GHzランプが点灯していることを確認してください。
※ この間に本製品は自動的に再起動しますので、手を触れずにそのままお待ちください。
メモ: WPSランプが速く点滅している場合は、本製品同士を近づけ、手順2～3をもう一度行ってください。
- 5 いったん2台目の電源をオフにし、設置したい場所に設置してもう一度電源をオンにします。約1分後、5 GHzランプまたは2.4 GHzランプが点灯または点滅していることを確認します。

以上で2台目の接続は完了です。

Step 4 2台目のSSIDを変更する

2台目の接続が完了したら、2台目のSSIDを変更します。



- 1 設定用パソコンと2台目をLANケーブルで接続します。
- 2 ブラウザーを開き、「<http://repeaterXXXX.set> (repeaterXXXX.setの部分はセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。

- 3 パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」を入力し、[OK]をクリックします。



- 4 画面左のメニューより、「詳細設定」→「2.4GHz無線設定」を選択します。

- 5 SSIDを任意のものに変更し、[設定する]をクリックします。

メモ: 変更後のSSIDは忘れずに控えてください。次のStep 5 で必要となります。

2.4GHz 無線設定

無線の設定を行います。

無線機能(子機側):	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SSID:	Buffalo-XXXX-G
認証方式:	WPA-PSK
暗号方式:	<input type="radio"/> WPA(TKIP) <input checked="" type="radio"/> WPA2(AES)
入力方式:	文字入力 (8-63文字)
暗号化キー:	XXXXXXXXXXXX
チャンネル:	8
ANY接続:	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
隔離:	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ

設定する キャンセル

- 6 [他の項目も変更]をクリックします。

設定を保存しました。

[適用] をクリックすると、設定を反映した後、本製品を再起動します。
[他の項目も変更] をクリックすると、引き続き他の項目を設定することができます。すべての設定が完了したら、[適用] をクリックしてください。

適用 他の項目も変更

- 7 画面左のメニューより、「詳細設定」→「5GHz無線設定」を選択します。

- 8 SSIDを任意のものに変更し、[設定する]をクリックします。

メモ: 変更後のSSIDは忘れずに控えてください。次のStep 5 で必要となります。

5GHz 無線設定

無線の設定を行います。

無線機能(子機側):	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SSID:	Buffalo-XXXX-A
認証方式:	WPA-PSK
暗号方式:	<input type="radio"/> WPA(TKIP) <input checked="" type="radio"/> WPA2(AES)
入力方式:	文字入力 (8-63文字)
暗号化キー:	XXXXXXXXXXXX
チャンネル:	36
ANY接続:	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
隔離:	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ

設定する キャンセル

9 [適用]をクリックします。

設定を保存しました。

[適用] をクリックすると、設定を反映した後、本製品を再起動します。
[他の項目も変更] をクリックすると、引き続き他の項目を設定することができます。すべての設定が完了したら、[適用] をクリックしてください。

適用 他の項目も変更

10 以下の画面が表示されたら、設定が反映されるまで約1分待ちます。

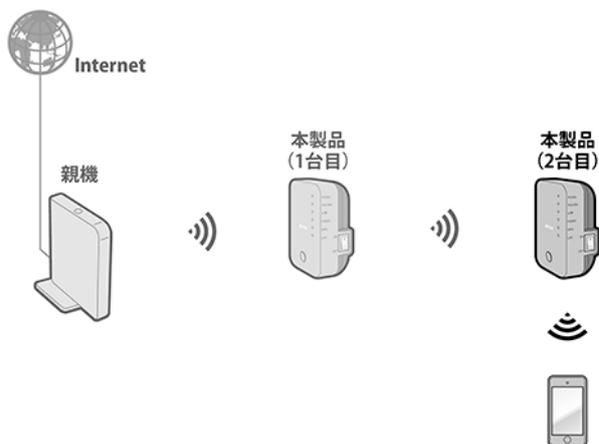
再起動中です。しばらくお待ちください。

OK(38)

以上で設定は完了です。

Step 5 お使いの端末に接続先を追加する

2台目のSSIDを変更したら、お使いの端末の接続先に2台目を追加します。
Step4の手順5および手順8で控えたSSIDに接続してください。



メモ: 2台目との接続方法は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
お使いの機器からインターネットに接続できれば設定はすべて完了です。

第3章 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

設定画面とは

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

設定画面を表示する

本製品に付属のセットアップカードを使って、設定画面を表示します。設定画面を表示するには、先に無線親機との接続設定を完了している必要があります。「第2章 無線親機に接続する」に従って、先に無線親機と接続してください。

- 1 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
本製品の設定を行う際は、有線で接続してください。
- 2 ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set (repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。
- 3 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[OK]をクリックします。
(パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します)



- 4 本製品の設定画面が表示されます。設定画面で各種設定を行ってください。
メモ: 各種設定例は、本書の第4章を参照してください。

システム情報

ログインすると最初に表示される画面です。本製品の各種設定内容を確認することができます。

システム情報

本製品のMACアドレス、ファームウェアバージョンおよびネットワークの情報を表示します。

機器情報	
動作時間	0day:0h:2m:16s
ハードウェアバージョン	Rev. A
ファームウェアバージョン	Ver.1.00 (R1.00/B1.00)
製品型番	WEX-733D
2.4GHz 無線設定	
SSID	XXXXXXXXXX
チャンネル番号	1
認証方式	WPA2-PSK
MACアドレス (BSSID)	XX:XX:XX:XX:XX:XX
接続している無線子機の台数	0 <input type="button" value="クライアントモニター"/>
状態	接続されていません
5GHz 無線設定	
SSID	XXXXXXXXXX
チャンネル番号	44
認証方式	WPA2-PSK
MACアドレス (BSSID)	XX:XX:XX:XX:XX:XX
接続している無線子機の台数	0 <input type="button" value="クライアントモニター"/>
状態	接続しています
LAN設定	
IPアドレス	192.168.10.16
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX

項目	内容
機器情報	本製品の基本的な情報を表示します。
2.4GHz 無線設定	2.4GHz帯の無線LANに関する情報を表示します。
5GHz 無線設定	5GHz帯の無線LANに関する情報を表示します。
LAN設定	本製品のLAN側の情報を表示します。

接続設定

本製品の接続先を変更することができます。
操作方法の詳細は、第2章の「手で無線親機と接続する」を参照してください。

接続設定

本製品（中継機）を無線親機に接続します。
接続したい無線親機を選んで、【次へ】をクリックしてください。
接続しようとしている無線親機が一覧に表示されない場合は、表示されるまで【更新】をクリックするか本製品を無線親機に近づけてください。
ANY接続を拒否している無線親機は、一覧に表示されません。【中継機の手動設定】を選択して、設定を行ってください。

ヒント: 無線親機との接続が成功したら、本製品を設置してください。
無線親機との接続が成功すると、2.4Gまたは5Gのランプが有効になります。これらのランプで中継機を受信する電波の強さが分かります。
点灯: 非常に強い、ゆっくり点滅: 強い、速く点滅: 弱い、消灯: 圏外
このランプ表示を確認しながら、最適な場所に中継機を設置してください。

選択	帯域	SSID	チャンネル	認証方式	電波強度
<input type="radio"/>	2.4G	XXXX-G	1	WPA2-PSK	100

WPS設定

本製品とパソコンや携帯端末を接続するときに使用します。
操作方法の詳細は、第4章の「新しく購入した機器を本製品と接続する」を参照してください。

WPS設定

WPSで無線子機と本製品の接続を自動で行います

- 2.4G WPS設定

WPSの状態:	Configured
SSID:	XXXXXXXXXX
認証方式:	WPA-PSK
暗号化キー:	XXXXXXXXXX
- 5G WPS設定

WPSの状態:	Configured
SSID:	XXXXXXXXXX
認証方式:	WPA-PSK
暗号化キー:	XXXXXXXXXX
- 機器設定

プッシュボタン式:	プッシュボタンによるWPSを開始する
無線子機のPINコード:	<input type="text"/> PINを使用したWPSを開始する

詳細設定

本製品の無線機能に関する詳細な設定を行います。

詳細設定

以下の設定は無線LANの知識が十分にある方のみお使いください。中継機の動作への影響が分からない場合は使用しないでください。

フラグメントしきい値	2346	(256-2346)
RTSしきい値	2347	(0-2347)
ビーコン間隔	100	(20-1024 ms)
DTIM Period	3	(1-10)
チャンネル幅 (2.4G)	<input checked="" type="radio"/> 自動 20/40MHz <input type="radio"/> 20MHz	
チャンネル幅 (5G)	<input checked="" type="radio"/> 自動 80MHz <input type="radio"/> 自動 20/40MHz <input type="radio"/> 20MHz	
プリアンブルの形式	<input checked="" type="radio"/> 短いプリアンブル <input type="radio"/> 長いプリアンブル	
CTSプロテクト	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 常時 <input type="radio"/> 使わない	
送信出力	100 %	

項目	内容
フラグメントしきい値	設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して送信します。
RTSしきい値	設定したサイズよりも大きなパケットを同一ネットワーク (SSID) 内へ送信するとき、RTS信号を送信します。
ビーコン間隔	送信するビーコンの間隔を設定します。
DTIM Period	無線接続している端末に通知するビーコン応答間隔 (1~10) の設定をします。
チャンネル幅 (2.4G)	2.4GHz帯で親機および子機 (パソコンや携帯端末など) に接続するとき使用する帯域幅を選択します。「自動 20/40MHz」を選択すると、40MHzの帯域幅で接続できないときは自動的に20MHzに設定されます。
チャンネル幅 (5G)	5GHz帯で親機および子機 (パソコンや携帯端末など) に接続するとき使用する帯域幅を選択します。「自動 80MHz」、「自動 20/40MHz」を選択すると、80または40MHzの帯域幅で接続できないときは自動的に20MHzに設定されます。
プリアンブルの形式	送信データに付加されるプリアンブル形式を設定します。一部の機器では対応していない場合があります。
CTSプロテクト	11gと11bを併用する場合に、11bの帯域を確保するかどうかを設定します。
送信出力	本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。

タイムゾーン

タイムゾーンやNTPサーバーの設定を行います。

項目	内容
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。
NTPサーバー	NTPサーバーのIPアドレスを入力します。ドメイン名は指定できません。
サマータイム	指定した期間中は、本製品の内部時計はNTPサーバーから取得した時刻から1時間後に設定されます。

2.4GHz 無線設定 / 5GHz 無線設定

本製品に接続するパソコンや携帯端末との通信に関する設定を行います。

項目	内容
無線機能(子機側)	子機(パソコンや携帯端末など)との通信に無線機能を使用するかどうかを設定します。
SSID ※1	接続している親機から引き継いだSSIDを表示します。
認証方式 ※1 ※2	子機(パソコンや携帯端末など)との無線通信時に使用する認証方式を、「WPA-PSK」、「WEP」、「認証を行わない」から選択します。
暗号方式 ※1 ※2	認証方式をWPA-PSKに設定した場合に表示されます。暗号方式を、「WPA(TKIP)」または「WPA(AES)」から選択します。
入力方式 ※1 ※2	認証方式をWPA-PSKに設定した場合に表示されます。暗号化キーの入力方式を選択します。
暗号化キー ※1 ※2	認証方式をWPA-PSKに設定した場合に表示されます。子機(パソコンや携帯端末など)無線接続に使用する暗号化キー(パスワード)を設定します。
キーの長さ ※1 ※2	認証方式をWEPに設定した場合に表示されます。暗号化モードキーの長さを、「64ビット」または「128ビット」から選択します。
キーの形式 ※1 ※2	認証方式をWEPに設定した場合に表示されます。暗号化モードキーの形式を、「文字入力(5文字)」または「16進数(10桁)」から選択します。

項目	内容
暗号化モードキー ※1 ※2	認証方式をWEPに設定した場合に表示されます。子機(パソコンや携帯端末など)無線接続に使用する暗号化モードキー(パスワード)を設定します。
チャンネル ※1 ※2	子機(パソコンや携帯端末など)との無線通信に使用するチャンネルを選択します。
ANY接続	「いいえ」を選択すると、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
隔離	「はい」を選択すると、有線および無線で本製品に接続している端末(パソコンや携帯端末など)は相互に通信できず、インターネット側とだけ通信できるようになります。

※1 この値を変更すると、接続するパソコンや携帯端末は親機と本製品の間で自動的に接続を切り替えることができなくなります。通常は変更せずそのままお使いください。

※2 この値は、親機と接続している周波数帯では変更することができません。

MACアクセス制限

登録したMACアドレスを持つ機器のみ通信を許可する設定を行います。

項目	内容
MACアクセス制限を行うMACアドレスの一覧	MACアクセス制限で接続を許可する端末のMACアドレスが表示されます。 [削除] MACアドレスを選択してからクリックすると、選択したMACアドレスを削除します。 [すべて削除] クリックすると、登録しているすべてのMACアドレスを削除します。 [リセット] クリックすると、MACアドレスの選択を解除します。
MACアクセス制限を有効にする	端末からの接続を制限するかどうかを設定します。
新規	[追加] MACアドレスとコメント(任意)を入力してからクリックすると、MACアドレスが登録されます。 [やり直し] クリックすると、入力した内容が削除されます。

機器設定

設定画面にログインするためのパスワードを設定します。

項目	内容
パスワード設定	現在のパスワードを入力し、新しいパスワードおよび再入力欄に変更するパスワードを入力して[設定する]をクリックすると、パスワードが変更されます。

機器管理

本製品の設定の保存・復元やファームウェアの更新を行います。

項目	内容
設定保存	[保存]をクリックすると、本製品の設定を「config.bin」ファイルに保存します。
設定復元	設定ファイルを指定して[読み込み]をクリックすると、本製品の設定を設定ファイル保存時の状態に戻します。
初期化	[設定を初期化する]をクリックすると、本製品の初期化が始まります。初期化を行うと、本製品の設定はすべて出荷時の状態に戻ります。
ファームウェアファイル名	ダウンロードページからダウンロードしたファームウェアファイルを指定して[更新]をクリックすると、本製品のファームウェアの更新が始まります。
再起動	[再起動]をクリックすると、本製品の再起動が始まります。

pingテスト

本製品からネットワーク上の他の端末との接続確認を行います。

pingテスト

宛先アドレス:

・ 実行結果

項目	内容
宛先アドレス	接続確認を行う端末のIPアドレスを入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

通信パケット情報

本製品が通信したパケットの合計を確認します。

通信パケット情報

		正常パケット数	エラーパケット数
無線(2.4G)	送信パケット	1492	0
	受信パケット	23520	0
無線(5G)	送信パケット	2906	40
	受信パケット	12133	0
有線	送信パケット	2635	0
	受信パケット	1807	0

項目	内容
送信パケット	LAN側有線、LAN側無線に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット	LAN側有線、LAN側無線から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

ログ情報

本製品に記録されているログ情報を確認します。

日付時刻	種類	ログ内容
2014/08/19 18:40:08	NTPクライアント	Synchronizing device time from NTP server 64.4.10.33 failed.
2014/08/19 18:40:07	NTPクライアント	Synchronizing device time from NTP server 64.4.10.33 failed.
2014/08/19 18:38:58	NTPクライアント	Synchronizing device time from NTP server 64.4.10.33 ...
2014/08/19 18:38:57	DHCPクライアント	Lease of 192.168.10.16 obtained, lease time 86400
2014/08/19 18:38:57	NTPクライアント	Synchronizing device time from NTP server 64.4.10.33 ...
2014/08/19 18:34:22	NTPクライアント	Synchronizing device time from NTP server 64.4.10.33 success fully.
----/--/-- --:--:--	DHCPクライアント	Lease of 192.168.10.16 obtained, lease time 86400
----/--/-- --:--:--	NTPクライアント	Synchronizing device time from NTP server 64.4.10.33 ...
----/--/-- --:--:--	有線リンク	Port Link Up.
----/--/-- --:--:--	システム起動	Boot up successfully.

項目	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ファイル(logfile.log)に保存する	表示されているログ情報をファイルに保存します。
消去	ログを消去します。

ログ情報転送機能

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行います。

ログ情報転送機能
Syslogサーバー:
保存

項目	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのIPアドレスを入力します。

動画配信サービス設定

本製品を経由して動画配信サービス(ひかりTVなど)を利用しているとき、映像が正常に表示されない場合は「動画配信サービスを優先する」にチェックを入れて[設定する]をクリックします。

この機能を有効にすると、条件に応じて一部のネットワークが切断されます。設定が面内の説明や、別紙「本製品を経由して動画配信サービスをご利用のお客様へ」をよく読んでから設定してください。

第4章 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

新しく購入した端末を本製品と接続する

本製品と無線親機の接続設定を行った後に購入した端末を無線接続する場合、以下の二通りの方法があります。

- ・ 新しく購入した端末と無線親機との接続設定を行う
- ・ 新しく購入した端末と本製品との接続設定を行う

ここでは、新しく購入した端末と本製品との接続設定の方法を説明します。無線親機との接続設定を行う場合は、無線親機の取扱説明書を参照してください。

WPSボタンで接続する

新しく購入した端末にWPS機能が搭載されている場合、本製品のWPSボタンを使用して簡単に接続設定を行うことができます。

- 1 本製品のWPSボタンを、WPSランプが点滅するまで(約2秒間)長押しします。
- 2 接続する端末のWPSを開始します。WPSを行う方法は、各端末の取扱説明書を確認してください。
- 3 約3分後、本製品の子機接続(↓📶)ランプが点灯していることを確認したら、機器がインターネットに接続できることを確認してください。

以上で設定は完了です。

設定画面からWPSで接続する

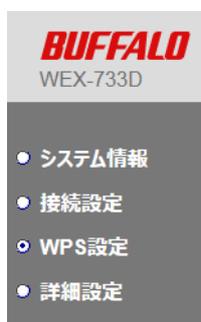
本製品のWPSボタンを使用しない場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
- 2 ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set (repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。

- 3** パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」(パスワードを変更している場合は変更後のパスワード)を入力し、[OK]をクリックします。



- 4** [WPS設定]をクリックします。



- 5** [プッシュボタンによるWPSを開始する]をクリックします。



- 6** 接続する端末のWPSを開始します。WPSを行う方法は、各端末の取扱説明書を確認してください。

- 7** 約3分後、本製品の子機接続ランプ(↓📶)が点灯していることを確認したら、機器がインターネットに接続できることを確認してください。

以上で設定は完了です。

PINコードを使用したWPSで接続する

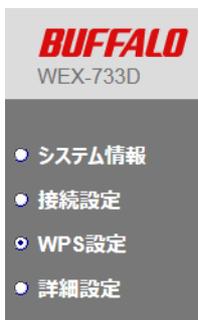
PINコードを使用したWPSで接続する場合は、以下の手順で接続設定を行ってください。

- 1** 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
- 2** ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set (repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。

- 3** パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」(パスワードを変更している場合は変更後のパスワード)を入力し、[OK]をクリックします。



- 4** [WPS設定]をクリックします。



- 5** 新しく購入した端末で本製品のSSIDを検索し、PINコード方式のWPSを開始してPINコードを発行します。

PINコード方式のWPSを行う方法は、各端末の取扱説明書を参照してください。

- 6** 「無線子機のPINコード」欄に新しく購入した端末のPINコードを入力し、[PINを使用したWPSを開始する]をクリックします。



- 7** 約3分後、本製品の子機接続ランプ(↓📶)が点灯していることを確認したら、機器がインターネットに接続できることを確認してください。

以上で設定は完了です。

他の端末から本製品を検索できなくする (ANY接続拒否設定)

本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽され、他の端末から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。

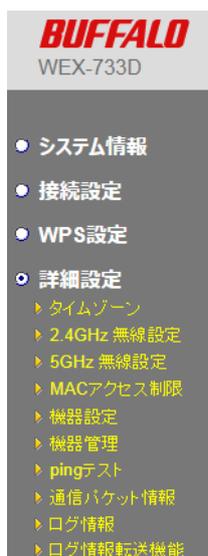
設定は、以下の手順で行います。

メモ: 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。

- 1 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
- 2 ブラウザーを開き、「http://repeaterXXXX.set (repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。
- 3 パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」(パスワードを変更している場合は変更後のパスワード)を入力し、[OK]をクリックします。



- 4 [詳細設定] - [2.4GHz 無線設定 (または5GHz 無線設定)] をクリックします。



5 「ANY接続」欄で「いいえ」を選択し、「設定する」をクリックします。

チャンネル: 1
ANY接続: はい いいえ
隣接: はい いいえ
設定する キャンセル

以上で設定は完了です。

アクセス可能な端末を制限する (MACアクセス制限)

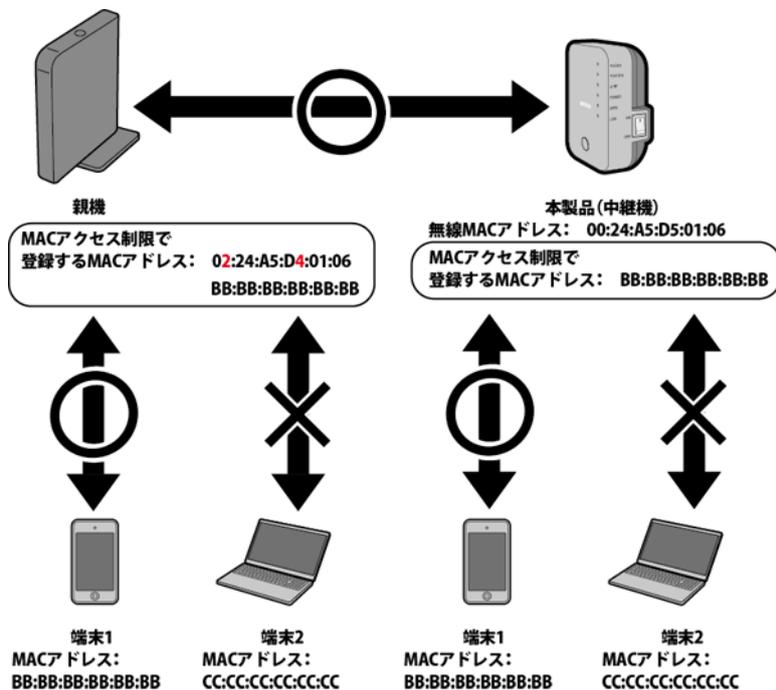
本製品に接続する端末のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その端末のみアクセスを許可することができます。

ここでは例として、以下の2つの設定を紹介します。

- ・ 親機側のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する場合
- ・ 親機一端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する場合

親機のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する

親機に設定しているMACアクセス制限設定を、本製品にも同じように適用する設定です。設定は以下の手順で行います。



1 設定用パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。

2 ブラウザーを開き、「<http://repeaterXXXX.set> (repeaterXXXX.setの部分は本製品のセットアップカードの「アドレス」欄に記載されている文字列)」を入力してEnterキーを押します。

- 3** パスワード入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」(パスワードを変更している場合は変更後のパスワード)を入力し、[OK]をクリックします。



- 4** 「システム情報」画面が表示されたら、本製品の5 GHzランプおよび2.4 GHzランプを確認し、点灯している方のMACアドレス (BSSID) を控えます。

- 5** 以下の例を参考に、手順4で控えたMACアドレスを変更し、その値を控えます。

00:24:A5:D5:01:06 → 0**2**:24:A5:D**4**:01:06

00:24:A5:C2:01:06 → 0**2**:24:A5:C2:01:06

- MACアドレスの2桁目を16進数で「+2」します。

例) 00→02、09→0B、0E→10

- MACアドレスの8桁目の数字が奇数 (1、3、5、7、9、B、D、F) の場合は、8桁目の数字を16進数で「-1」します。

例) D5→D4、D1→D0、DD→DC

MACアドレスの8桁目の数字が偶数の場合は、8桁目の数字は変更しません。

- 6** 手順5で控えたMACアドレスを、親機のMACアクセス制限設定に登録します。

- 7** 親機のMACアクセス制限設定で登録しているその他の無線接続を許可する端末のMACアドレスを控えます。

- 8** 第2章の「無線親機に接続する」を参照して、本製品を親機に接続します。

9 本製品の設定画面の[詳細設定] – [MACアクセス制限]をクリックします。



10 手順7で控えた無線接続を許可する端末のMACアドレスを入力し、[追加]をクリックして登録します。MACアドレスを入力するときは、コロン(:)を入力する必要はありません。登録できるMACアドレスは20個までです。

新規	MACアドレス:	コメント:	追加
	xxxxxxxxxxxx		やり直し

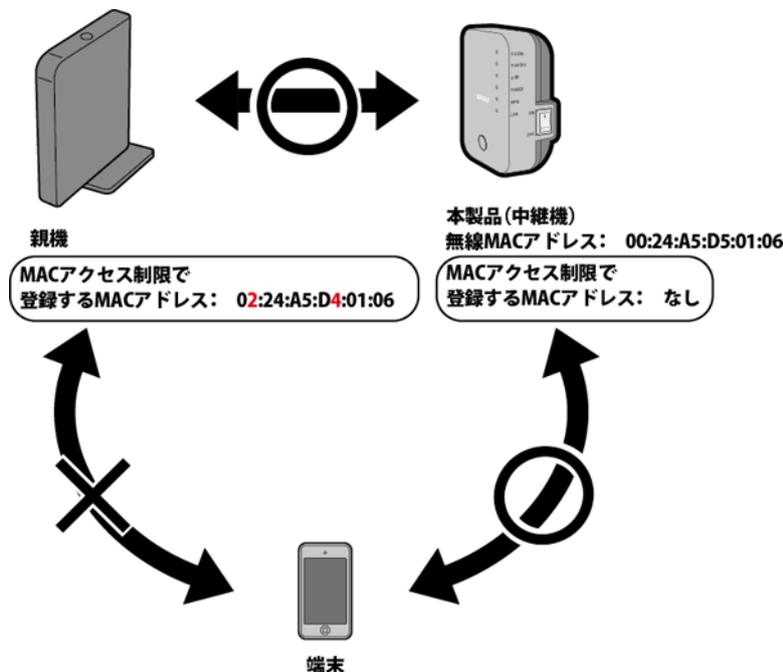
11 登録が終わったら、「MACアクセス制限を有効にする」にチェックを入れて、[設定する]をクリックします。

<input checked="" type="checkbox"/> MACアクセス制限を有効にする			
新規	MACアドレス:	コメント:	追加
			やり直し
			設定する

以上で設定は完了です。

親機－端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する

親機に端末を直接接続することを禁止し、本製品を経由する場合のみ接続を許可する設定です。



この場合は、本製品を親機に接続し、上記の手順1～6に従って本製品の無線MACアドレスを親機に登録すれば設定は完了です。

メモ: 本製品の無線MACアドレスを親機に登録した後、本製品を親機に接続してください。

ランプを消灯する

本製品のランプを消灯したい場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 本製品の電源をオンにします。
- 2 本製品のWPSボタンを1回押します。
- 3 ランプが消灯していることを確認します。

メモ: ランプを点灯させる場合は、もう一度WPSボタンを1回押します。

以上で設定は完了です。

第5章 困ったときは

無線接続が切れる/不安定

原因1 本製品や親機の動作が不安定になっている

本製品や親機への負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品または親機のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因2 本製品と親機、または本製品と無線端末との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の5GHzランプまたは2.4GHzランプが速く点滅している場合は、親機に近づけるなどして、ランプが点灯またはゆっくり点滅する場所を探してください。これらのランプがすでに点灯またはゆっくり点滅している場合は、親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 本製品または親機周辺の電波環境が悪い

本製品と親機または本製品と無線接続している端末が2.4GHz帯で接続している場合、電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品や親機の周囲で動作していると、無線による通信が不安定になることがあります。

それらの機器を本製品や親機から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品や親機から遠ざけることができない場合は、本製品と親機または本製品と無線接続している端末を5GHz帯で接続しなおしたり、親機の無線チャンネルを変更してください。

原因4 本製品または親機のファームウェアが古い

上記1～3の対策を行っても本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、本製品または親機のファームウェアを最新版に更新してください。

原因5 無線端末のドライバーが古い

上記1～4の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、無線接続している端末のドライバー(ソフトウェア)を最新版に更新してください。

原因6 親機が省電力モードで動作している

親機で節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

無線でつながらない

原因1 本製品や親機の動作が不安定になっている

本製品や親機への負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品または親機のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因2 本製品と親機、または本製品と無線機器との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の5GHzランプまたは2.4GHzランプが消灯していたり速く点滅している場合は、親機に近づけるなどして、ランプが点灯またはゆっくり点滅する場所を探してください。これらのランプがすでに点灯またはゆっくり点滅している場合は、親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 セキュリティソフトが動作している

無線接続する端末にウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、無線接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティソフトを終了して、無線接続設定を完了させてからセキュリティソフトを起動してください。

原因4 無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。まず、本製品が親機に正しく接続しているかを確認します。親機と接続しているときは、本製品の5GHzランプまたは2.4GHzランプのどちらかが点灯します。親機と正しく接続されていることを確認したら、各端末の説明書を参照して本製品に接続してください。

原因5 本製品や親機にANY接続拒否やMACアクセス制限が設定されている

親機にANY接続拒否の設定がされていると、本製品が親機に接続できない場合があります。ANY接続拒否の設定を解除して本製品と親機を接続してください。

本製品や親機にANY接続拒否の設定がされていると、端末から検索しても表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

本製品や親機にMACアクセス制限の設定がされていると、そのままでは無線接続できません。端末のMACアドレスを本製品または親機に登録してから無線接続してください。

また、親機にMACアクセス制限が設定されている場合は、第4章の「親機のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する」の手順1～6に従って、本製品のMACアドレスを変更したものを親機に登録する必要があります。

原因6 親機が省電力モードで動作している

親機の節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品の電源をオフにし、再度オンにしてください。

原因2 設定用パソコンが本製品に接続されていない

設定用パソコンと本製品を無線接続している場合は、LANケーブルで接続してください。

無線での通信が遅い

原因1 本製品と親機、または本製品と無線機器との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の5GHzランプまたは2.4GHzランプが消灯していたり速く点滅している場合は、親機に近づけるなどして、ランプが点灯またはゆっくり点滅する場所を探してください。これらのランプがすでに点灯またはゆっくり点滅している場合は、親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因2 本製品や親機周辺の電波環境が悪い

本製品と親機または本製品と無線接続している端末が2.4GHz帯で接続している場合、電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品や親機の周囲で動作していると、無線による通信が不安定になることがあります。

それらの機器を本製品や親機から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品や親機から遠ざけることができない場合は、本製品と親機または本製品と無線接続している端末を5GHz帯で接続しなおしたり、親機の無線チャンネルを変更してください。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、WPSボタンをPOWERランプが点滅するまで(約10秒間)長押ししてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

第6章 付録

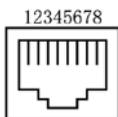
製品仕様

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11ac / IEEE 802.11n / IEEE 802.11a / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T71 (IEEE 802.11ac / IEEE 802.11a) ARIB STD-T66 (IEEE 802.11g / IEEE 802.11b) (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
周波数範囲(中心周波数)	IEEE 802.11ac / IEEE 802.11a: W52 36/40/44/48 ch (5180~5240 MHz) W53 52/56/60/64 ch (5260~5320 MHz) W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 ch (5500~5700 MHz) ※ W53およびW56は、接続している親機が使用している場合のみ使用できません。 IEEE 802.11b / IEEE 802.11g: 1~13 ch (2412~2472 MHz) 基本的に携帯電話、コードレスフォン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合や、電子レンジが動作している場合は、電波干渉によって通信障害が発生する可能性があります。
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
セキュリティー	WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(TKIP)、WEP(128 bit / 64bit)、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
802.11ac データ転送速度 (オートセンス)	IEEE 802.11ac 20 MHz BW <Long GI>: 78/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 20 MHz BW <Short GI>: 86.7/72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 40 MHz BW <Long GI>: 180/162/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz BW <Short GI>: 200/180/150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 80 MHz BW <Long GI>: 390/351/292.5/263.3/234/175.5/117/87.8/58.5/29.3 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 80 MHz BW <Short GI>: 433.3/390/325/292.5/260/195/130/97.5/65/32.5 Mbps (1 stream)

802.11n/a/g/b データ転送速度 (オートセンス)	IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>: 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>: 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>: 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>: 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11g: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11b: 11/5.5/2/1 Mbps
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3u (100BASE-TX) / IEEE 802.3 (10BASE-T)
データ転送速度	10/100 Mbps (自動認識)
データ伝送モード	半二重/全二重 (自動認識)
伝送路符号化方式	4B5B/MLT-3 (100BASE-TX) / マンチェスターコーディング (10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	100 BASE-TX / 10 BASE-T 兼用端子 (AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	4.0 W (最大)
外形寸法	64 (W) × 86 (H) × 40 (D) mm (突起物を含まず)
重量	115 g
動作環境	0 ~ 40 °C、10 ~ 85 % (結露しないこと)

LAN端子仕様

形状 (RJ-45型8極)



100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ (+) / 送信データ (+)
2	RD-/TD-	受信データ (-) / 送信データ (-)
3	TD+/RD+	送信データ (+) / 受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ (-) / 受信データ (-)

7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

メモ: ※AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

初期設定一覧

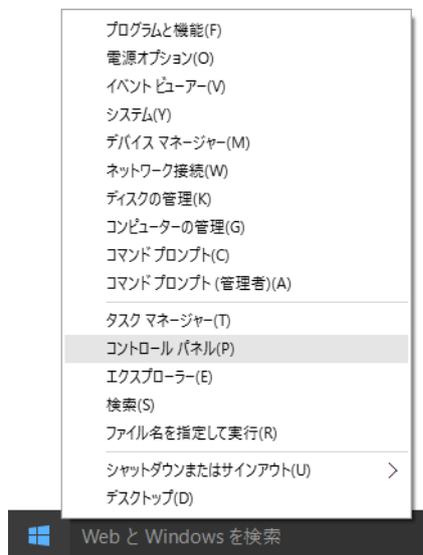
機能	パラメーター	出荷時設定
詳細設定	フラグメントしきい値	2346
	RTSしきい値	2347
	ビーコン間隔	100
	DTIM Period	3
	チャンネル幅(2.4G)	20 MHz
	チャンネル幅(5G)	自動 80 MHz
	プリアンプルの形式	短いプリアンプル
	CTSプロテクト	自動
	送信出力	100%
タイムゾーン	タイムゾーン	(GMT +09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo
	NTPサーバー	64.4.10.33
	サマータイム	無効
2.4GHz 無線設定 5GHz 無線設定 ※親機との接続設定後の初期値です。	無線機能(子機側)	有効
	SSID	接続している無線親機のSSID
	認証方式	接続している無線親機の認証方式
	暗号方式	接続している無線親機の暗号方式
	入力方式	接続している無線親機の入力方式
	暗号化キー	接続している無線親機の暗号化キー
	キーの長さ	接続している無線親機のキーの長さ
	キーの形式	接続している無線親機のキーの形式
	暗号化モードキー	接続している無線親機の暗号化モードキー
	チャンネル	接続している無線親機のチャンネル
	ANY接続	有効
隔離	無効	
MACアクセス制限	MACアクセス制限を有効にする	無効
ログ情報	表示するログ情報	有線リンク、無線LAN子機、NTPクライアント、システム起動、DHCPクライアント
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能	無効
	Syslogサーバー	—
動画配信サービス設定	動画配信サービスを優先する	無効

コントロールパネルの表示方法

Windowsのコントロールパネルの開き方は、OSによって異なります。以下の手順で開いてください。

Windows 10の場合

- 1 タスクバー上のWindowsロゴ(スタート)を右クリック(タブレットの場合は長押し)して表示されるメニューから、[コントロールパネル]を選択します。



Windows 8.1/8の場合

- 1 デスクトップ画面を表示させます。
- 2 画面右下隅にポインターを移動させ、そのまま上方向に移動させるとチャームが表示されるので、[設定]をクリックします。
- 3 [コントロールパネル]をクリックします。

Windows 7/Vista/XPの場合

- 1 「スタート」メニューから、[コントロールパネル]を選択します。

IPアドレスの固定方法

Windows 10/8.1/8の場合

1 コントロールパネルを表示します。

メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

2 ネットワーク接続の画面を表示します。

「ネットワークと共有センター」をクリックし、「アダプター設定の変更」をクリックします。「ネットワークと共有センター」が表示されない場合は、表示方法をアイコン表示に変更してください。

3 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows 7の場合

1 コントロールパネルを表示します。

メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

2 ネットワーク接続の画面を表示します。

「ネットワークと共有センター」をクリックし、「アダプター設定の変更」をクリックします。「ネットワークと共有センター」が表示されない場合は、表示方法をアイコン表示に変更してください。

3 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows Vistaの場合

1 コントロールパネルを表示します。

メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

2 ネットワーク接続の画面を表示します。

「ネットワークセンター」をクリックし、「ネットワーク接続の管理」をクリックします。「ネットワークセンター」が表示されない場合は、表示方法をクラシック表示に変更してください。

3 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows XPの場合

1 コントロールパネルを表示します。

メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

2 ネットワーク接続の画面を表示します。

「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、「ネットワーク接続」をクリックします。

3 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xの場合

メモ: OS X 10.10を例に説明します。

1 システム環境設定を表示します。

2 ネットワークをクリックします。

3 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「Ethernet」を選択します。

4 IPv4の設定で「手入力」を選択します。(「Wi-Fi」を選択した場合は[詳細...]をクリックし、「TCP/IP」を選択します。)

5 以下のように設定して、[適用]をクリックします。

- ・ IPアドレスまたはIPv4アドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ ルーターは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、IPv4の設定で「DHCPサーバを使用」を選択して、[適用]をクリックしてください。

以上で設定は完了です。

著作権・免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときには、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。